

ふるさと応援寄附金の実績を報告します

●寄附金額報告
令和7年度ふるさと応援寄附金は、1億1,876万円余となりました。全国各地の皆さんから多くのご支援をいただきました。いただいた寄附金は町のさまざまな取組に活用しています。

■令和7年度に寄附金を活用して実施した主な事業
子ども・子育て支援（出産祝い金・子育て世帯日常生活用品給付など）
みどり認定推進（エコロジーマスターの拡大）
飯南高校の魅力化、通学支援
いーにゃんPAYの利用促進など商業活性化
大しめ縄、森林セラピーなどの観光推進

今年度も、寄附者の皆さんの思いを大切に、まちづくりに有効活用していきます。

問まちづくり推進課
76・2864



大しめ縄合わせの様子

事業名(使途)	寄附金額	寄附件数
産業振興及び観光振興に関する事業	20,539,000円	2,925件
定住の推進に関する事業	3,334,000円	
島根県立飯南高等学校の特色ある教育を支援する事業	9,321,000円	
将来を担う人材の育成に関する事業	24,446,500円	
高齢者等にやさしい福祉に関する事業	5,403,500円	
安心な地域医療の対策に関する事業	7,349,500円	
環境を守る森づくりに関する事業	13,266,500円	
事業指定なし	35,107,000円	
合 計	118,767,000円	

人事行政の運営等の状況を公表

職員の任免に関する状況

	令和7年度採用	令和7年度退職
一般行政職	4人	5人
医療技術職	1人	1人
看護・保健職	3人	3人
技能労務職	0人	1人
合 計	8人	10人

職員の勤務時間その他の勤務条件の状況

1週間の正規の勤務時間	38時間45分
1日の正規の勤務時間	7時間45分
開始時刻	8:30
終了時刻	17:15
休憩時間	12:00～13:00

地方公務員法、飯南町人事行政の運営等の状況の公表に関する条例に基づき、令和7年度の人事行政の運営などの状況をお知らせします。

職員の福祉及び利益の保護の状況 (1)安全衛生管理体制

総括安全衛生管理者	安全衛生管理者	安全衛生推進者	産業医
1人	3人	5人	1人

職員の福祉及び利益の保護の状況 (2)職員の健康診断の状況

	対象者数	受診者数
定期健康診断	98人	98人
人間ドック(病院ドックを除く)	61人	61人

職員の服務の状況 年次有給休暇の取得状況(令和7年1月1日～令和7年12月31日)

総付与日数	総取得日数	全対象職員数	平均取得日数	消化率
5,629日	1,905日	152人	12.5日	33.8%

職員の研修の状況

区 分	受講者数
自治研修所派遣研修	13人
市町村総合事務組合研修	8人

職員の分限及び懲戒処分状況

分限処分者	4人
懲戒処分者	0人

なお、給与・職員数などの状況は、広報3月号で公表しています。

島根県知事へ要望活動

8月25日

島根県知事に対して、次のとおり重点要望活動を行いました。

■飯南病院の医療従事者等の確保
住民が安心して必要な医療を受けられる体制を維持・確保できるよう、引き続き飯南病院への医師派遣など特段の配慮

■持続可能な通所介護サービスへの対応
訪問系サービス等の加算を通所系サービスでも算定できるようにするなど、サービス提供の維持に向けた単価設定や算定の仕組みの見直し

■高齢者福祉施設整備における物価高騰対応
新たな特別養護老人ホーム建設にあたり、現在の資材価格や労務単価の値上げなど実態に即した県補助基準の引き上げ

■ツキノワグマの被害防止対策の強化
県主体の広域的な捕獲体制の構築、市町村による緊急銃猟対応等実務者配置の運用支援

石原副知事からは、「地域包括ケア推進局を設置し、



施策や課題を説明し町長が要望書を提出

行政・医療・介護が一体でサービスを行う体制は、中山間地域のモデルとして評価している。着実に医師確保できるよう取り組みたい」

「持続可能な通所介護サービスへの対応について、国へ地域の実情を十分考慮した報酬水準となるよう単価設定や算定の仕組みの見直しを要望している」

「高齢者福祉施設整備について、昨今の経済情勢・社会情勢の影響による資材価格や労務単価の急激な上昇は認識しているが、影響は広範囲のため、補助基準額の引き上げは容易ではない」

「県として緊急銃猟対応等実務者の配置の考えはないが、市町村が設置する場合の人材確保・育成を支援していきたい」

などの回答をいただきました。

大人の生命地域学プレゼンテーション

9月9日

まちの資源活用や課題解決などに、自身のアイデアや思いを活かして取り組む地域探究活動「大人の生命地域学」のプレゼンテーションに、今年度の活動者2人が登壇しました。

■石橋勇二さん(頼原)
「若い世代がいつか戻ってきたくなる地域づくり」をテーマに、Uターン者や地域住民、町内の各団体などへのヒアリングを実施。まちの魅力や課題を「飯南町未来マップ」としてまとめて可視化するとともに、町内外への発信に取り組みます。

■前田弘人さん(赤名)
「縮小社会での持続的自治活動へ向けて」をテーマに、地域活動の課題の一つとなっている集会所等の草刈りに着目。草刈機のレンタル事業を通して、他地域や若者世代との関わりを増やす活動に取り組みます。

今後は、地域課題の把握や活動の試行を重ね、来年3月に活動の成果を報告。活動を通じて得られた気づきや成果を、地域やまちの取組へとつなげていきます。



より良い地域を目指そうと呼びかける前田さん



地域探究学習に取り組む飯南高校生を前に発表する石橋さん